

会 議 録

会 議 名	第1回 嵐山町総合振興計画審議会 及び 第1回 嵐山町総合戦略策定委員会					
開 催 日 時	令和7年8月20日（水）			開 会	14時00分	
				閉 会	16時40分	
開 催 場 所	嵐山町役場 204・205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会委員の委嘱 3 町長あいさつ 4 総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会 委員の紹介 5 総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会 会長、副会長の選任 6 議事録の署名人の指定 7 総合振興計画の諮問 8 <第1部>嵐山町総合振興計画審議会 議 事 (1) 総合振興計画 改定版（案）について (2) 策定スケジュールについて (3) その他 9 <第2部>嵐山町総合戦略策定委員会 議 事 (1) 総合戦略策定（案）について (2) その他 10 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	嶋田 淨	出席	副会長	高坂 英夫	出席
	委 員	船戸美津子	出席	委 員	杉田 哲	出席
	委 員	安藤淳之介	出席	委 員	笠谷 芳子	出席
	委 員	佐藤 和行	出席	委 員	後藤 英之	出席
	委 員	小山田建太	出席	委 員	田中 恵子	出席

	委 員	金子 和生	出席	委 員	飛田 聡保	出席
	委 員	牛久保菜々子	出席	委 員	奥田 貴哉	出席
	委 員	関根 盛敏	出席	委 員	米持 裕也	出席
	委 員	持田 知子	出席	委 員	平野 早恵	欠席
	委 員	武城 文明	欠席			
事 務 局 (地域支援課)	安藤課長			片岡副課長		
	村田主席主査			宮島主事		

次 第	顛 末
1 開 会	安藤地域支援課長
2 委員の委嘱	机上配布による委嘱状交付
3 町長あいさつ	(佐久間町長) ・総合振興計画は町の最上位計画であり、総合戦略と共に町の施策を総合的かつ計画的に進めるための指針になるもの。また、総合振興計画は議決案件でもあります。本会議は総合振興計画並びに総合戦略を改訂・策定する大変重要な会議であります。一人ひとりの経験に基づいた忌憚のないご意見を頂戴したい。また、今後嵐山町がさらにすばらしい町に発展するような計画の改定をお願いしたい。
4 委員の紹介	・事務局進行で各委員による自己紹介 ・事務局自己紹介
5 会長、副会長の選任	(安藤課長) ・総合振興計画審議会及び総合戦略の2つの計画は関連している部分もあることから会長及び副会長は同じ方をお願いしたい。 ＜異議なし＞ ■会長の選任 (佐久間町長) ・会長の選任について立候補、他薦がないか伺う。 ・意見が出ないため、事務局案を確認。 (事務局) ・計画の策定の際は区長選出役員に会長をお願いしていた。また、総合戦略検証委員会においても区長会副会長の嶋田委員をお願いしているため、事務局案としては嶋田委員をお願いしたい。 (佐久間町長) ・嶋田委員をお願いしたいと思うがいかがか。 ＜異議なしで承認、嶋田浄委員が会長に選任＞ ■副会長の選任 (佐久間町長) ・会長の選任について立候補、他薦がないか伺う。 ・意見が出ないため、事務局案を確認。

	(事務局) ・計画の策定の際は商工会会長に副会長をお願いしていた。また、総合戦略検証委員会においても商工会会長の高坂委員にお願いしているため、事務局案としては高坂委員にお願いしたい。 <異議なしで承認、高坂英夫委員が副会長に選任> ■会長、副会長あいさつ (嶋田会長) ・区長会副会長の嶋田と申します。本会議は皆様方の貴重なご意見をいただいて進めたいと思う。どうぞよろしくお願いします。 (高坂副会長) ・嶋田会長を補佐して進めていきたいと思う。どうぞよろしくお願いします。
6 議事録の署名人	・事務局より、今回会議録署名人については舩渡美津子委員、杉田哲委員にお願いしたい旨を説明。了承された。
7 諮問	・佐久間町長より嶋田会長へ諮問。 <佐久間町長公務により退席>
8 議 事 (1) 総合振興計画 改定版(案)につ いて	<第1部>嵐山町総合振興計画審議会 ・嶋田会長が議長となり、議事進行を行う。 ■第1章～第4章 ・事務局より、第1章 序論から第4章 基本施策まで、改定にあたり変更・修正箇所を抜粋して説明。 <意見・質疑等なし> ■第1節 協同のまちづくり ・事務局より、変更・修正箇所を抜粋して説明。また、第1節の事前質問について、回答。 (嶋田会長) ・事前質問にもありましたが、自治会の加入率が減ってきている。自治会に入っても入らなくても同じという意見が多い。ここは、少し差をつけても良いと個人的に感じる。 (後藤委員) ・P.32の目指す指標の転入者数の増加について、定義を確認したいのですが、335人増などと記載されていますが、こちらの数値は人口が増えたということでしょうか。それとも、転入者が増えたということでしょうか。 (事務局) ・こちらは転入者と転出者の差で、転出者に対し転入者が増え、増加した人数が掲載されています。

	(後藤委員) ・人口自体が減っているのは、死亡等の自然減が原因ですか。 (事務局) ・その通りです。 (関根委員) ・P32 の町内総生産額について、令和 6 年度の現状値が 121,173 百万円で、令和 7 年度の目標値が 90,000 百万円。令和 12 年の目標値が 135,000 百万円となっている。令和 6 年度の単年度だけ、生産額が上がったのでしょうか。 (事務局) ・令和 7 年度の数値は、計画当初の数値のまま変更をしておりません。令和 6 年度は実際の現状値で、令和 12 年度については、令和 6 年度の現状値に即した値に修正をしております。 (佐藤委員) ・事前に委員から提出のあった意見について、こちらは計画に反映をするのでしょうか。 (事務局) ・今回の審議会には間に合いませんでしたが、次回の審議会までに、計画への反映について各課で検討をすることとしております。 ■第 2 節 ひとを育み、学びを楽しむまちづくり ・事務局より、変更・修正箇所を抜粋して説明。また、第 2 節の事前質問について、回答。 (後藤委員) ・町民憲章の中に、「文化をたかめ スポーツにしたいし 世界と結ぶまちをつくりましょう」とあります。しかし、計画には世界と繋ぐという点について記載がないようですが、何か施策としてあるのでしょうか。 (田中委員) ・町は、近隣市町に先んじてボッチャの道具を用意したり、人権教育の視点からもインクルーシブという取り組みが進んでおります。また、フィンランドの方が幼稚園に体験入園に来られたりと、国際理解も進んでおります。その辺りの内容が明記されると良いのかと思います。 (事務局) ・町民憲章に記載がある内容について、今の時代に即した施策を実施することは当然かと思しますので、担当課に確認をして、
--	--

	次回の審議会までに施策として反映できるか確認を行います。 (高坂副会長) ・学校の部活は教師の負担が大きいので、これからは地域のクラブ等に委託をすると思うのですが、そのことについても記載があると良いと思う。 (事務局) ・担当課に確認を行い、次回の審議会までに記載をするか確認をいたします。 (杉田委員) ・女性教育会館の研修棟が使えなくなると、嵐山まつりの文化展が出来なくなる。交流センターを利用することができないか。また、それ以外の時期でも、1～2週間の長期間で部屋を借りられるようにならないか。 (安藤課長) ・生涯学習課に個別に交渉をしていただくのが良いと思う。 (嶋田会長) ・ふれあい交流センターの運営協議会に属していますが、3日以上貸してしまうと他の団体が借りられなくなってしまうため、1～2週間というのは難しい。 (後藤委員) ・嵐山町には、待機児童がいますか。 (田中委員) ・嵐山には、いません。 ■第3節 健康で互いに支えあうまちづくり ・事務局より、変更・修正箇所を抜粋して説明。また、第3節の事前質問について、回答。 (安藤委員) ・スクールバスの空き時間に町民の送迎に使えないかという事前質問がありましたが、外注をした場合、単純に金額が上がると聞いています。そもそも、バス会社も人材不足等により、外注を受けてくれるかわからないと聞いています。町がマイクロバス等を使って、自前でやるのであれば可能かもしれないとも聞いています。 ・また、除草について、シルバー人材センターの作業員は今後どうなるのか。シルバーで除草作業をした場合、給料が1日当たり4～5千円だが、うちの会社では17,000円になる。働く人がちゃんともらえるように改善をした方が良いと思う。
--	---

(安藤課長)

- ・町でマイクロバスを運行した場合は、町民の送迎も可能かもしれない。ただ、子どもの安全が第一です。町として、スクールバスの方針が決まった上で、公共交通としても利用が可能か庁内で確認を行います。
- ・自分の父親がシルバーで働いている。80歳で雇ってもらっており、行きたいときに行くというように自由にやらせてもらえている。年齢が高い人にはシルバーはありがたい。

■第4節 自然とともに生きるまちづくり

- ・事務局より、変更・修正箇所を抜粋して説明。また、第4節の事前質問について、回答。
- <質疑等なし>

■第5節 安全・安心で活力あるまちづくり

- ・事務局より、変更・修正箇所を抜粋して説明。また、第5節の事前質問について、回答。

(関根委員)

- ・ラベンダー園はいつまで続けるのか。今年もあまり咲いておらず、観光客も少なかった。正直、税金の無駄としか感じず、多くの町民がやめてもらいたいと思っている。

(安藤課長)

- ・そろそろラベンダー園の借地が満期となります。今後の対応について、今回の9月議会で、4人の議員から質問が出ています。なんらかの方針が町から示されると考えます。

(関根委員)

- ・満期はいつ。

(持田委員)

- ・令和8年8月です。

(安藤課長)

- ・更新をしなければ、土地の所有者に原状復帰を行い、返却いたします。

(杉田委員)

- ・ラベンダー園の土壌の下は水があって、そもそもラベンダーをやるべきではなかった。やめたほうが良いという気持ちもわかるが、現在、やめるにやめられない状況にある。

(関根委員)

- ・やめられないものをやめるのが政治だと思う。園の看板等に、

咲かなかった理由として、暑さが挙げられている。しかし、うちのラベンダーも他所の家のラベンダーも咲いている。土壌の下の水が原因であるならば、やめたほうが良い。

(嶋田会長)

- ・駅西口について、駐車場を整備するとか、もう少し使い勝手をよくしてもらいたい。

(安藤課長)

- ・元々トイレがあった場所に、東武が駐車場を造ると聞いています。また、西口は広場でなく、道路であると聞いています。そのため、イベントの開催等についてもハードルが上がっております。

(田中委員)

- ・災害発生時に赤十字や自衛隊が入る前の3日間を持ちこたえる体制を整えておくかが重要と聞きました。それについては、記載がされていると思います。それとは別に、災害協定について、どのような形で提携をして、住民の命を守っていくかという事を記載していただきたい。

(安藤課長)

- ・協定については、物販から物資輸送、極端に言えば霊柩車の確保等、そういうところまで、ありとあらゆる協定を締結しています。また、毎年新しく協定を締結できる企業等がないか探しております。直近ではコスモス薬品と協定を締結しております。協定のポイントとして、優先的にやってもらうが、費用は全額町が負担するという事です。

■第6節 推進方策

- ・事務局より、変更・修正箇所を抜粋して説明。また、第6節及びの全体を通じた事前質問について、回答。

(安藤委員)

- ・町をきれいにすると防犯や事故・事件の減少につながるという第5節の事前意見について、同じような考えだが、公園や通学路等、子どもたちの周囲をきれいにすることが、人口減少抑止につながると思う。また、トイレをきれいにしておくと、観光客の増加につながると思う。

(安藤課長)

- ・おっしゃるとおり。トイレ偏差値というものがあり、特に女性はトイレがきれいだと、観光に来られます。

(小山田委員)

(2) 策定スケジュールについて	・学校教育環境の項目で、適応指導教室が広域として整備されていると記載がある。車の移動を伴ってしまうため、連れていけないケースもあると思うので、自治体として整備した方がよい。 (佐藤委員) ・社会増となっているが、移住してきた人たちがこの町に定着するような施策はあるのか。 (安藤課長) ・社会増となっているが、工業団地等に来る外国人が多い。この人たちは、3年間の研修期間が終わると出て行ってしまう場合が多い。現在はベトナム人が多く来ています。 (佐藤委員) ・第2章まちの将来像に、町民なども積極的に行政に参画とあるが、町の職員と話をする機会がほとんどない。町民の声ボックスやパブコメだけでなく、もっと町民参加型の懇話会等をする とよい。 (嶋田会長) ・職員が事あるごとに出ていくことは難しいと思われる。議員と地域の人の話し合いの場があるので、そこで意見を言って、行政に伝えてもらおうと良い。 (佐藤議員) ・各地域から誰でも参加できるのか。 (嶋田会長) ・議員との話し合いはオープンなので、誰でも参加できる。 (安藤課長) ・今年度は、11月ごろに開催される。まだ、地域から連絡がないかもしれないが、そのうち開催の連絡がいくと思う。 (後藤委員) ・東武のホームが鳩のフンなどで汚い。駅自体をよくするために、協定を締結する等できないか。連絡通路のディスプレイも一部壊れている。 (安藤課長) ・駅の中で、連絡通路は町、改札の中からホームが東武の管理となっている。通路の対応は可能です。 ■策定スケジュールについて ・事務局より、嵐山町総合振興計画の改定及び嵐山町総合戦略の策定スケジュール予定について説明。 <意見なし>
-------------------------	--

(3) その他	■その他 なし ■会議の公開について (嶋田会長) ・本会議及び次回以降の会議の公開について、公開で良いか。 ＜異議なしで承認、次回以降の会議は原則公開とする＞
9 議 事 (1) 総合戦略策定 (案)について	＜第2部＞嵐山町総合戦略策定委員会 ・引き続き嶋田会長が議事進行を行う。 ■嵐山町デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定にあたって ・事務局より、計画策定の趣旨と策定の経緯等について説明。 ＜質疑等なし＞ ■嵐山町デジタル田園都市国家構想総合戦略の体系 ・事務局より、施策の体系について説明。 ＜質疑等なし＞ ■基本目標1 雇用をつくる ・事務局より、要点を抜粋して説明。また、基本目標1の事前質問について、回答。 (嶋田会長) ・農地バンクから農地を借りる際、手続きが多く大変。もっと簡素化をしてもらいたい。 ■基本目標2 人の流れをつくる ・事務局より、要点を抜粋して説明。また、基本目標2の事前質問について、回答。 (関根委員) ・町で過去に実施した移住者への20万円補助等の事業ですが、20万円では移住者はこないと思う。転入したら3年間固定資産税や住民税を無料等の思い切った施策をしないと移住者は来ない。 ・ICT教育について、先進国であるフィンランド等は紙と鉛筆の方が成績が上がる等の理由で、戻ってきている。町も、もう一度考え直した方が良いと思う。

■基本目標3 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる

- ・事務局より、要点を抜粋して説明。また、基本目標3の事前質問について、回答。

<質疑等なし>

■基本目標4 住みよい環境をつくる

- ・事務局より、要点を抜粋して説明。また、基本目標4の事前質問について、回答。

(佐藤委員)

- ・KPIにある地域の犯罪発生件数で、令和6年度の実績は120件となっている。どのような犯罪があるのでしょうか。

(安藤課長)

- ・万引きや自転車の窃盗が40～50件、空き巣が10件程度。ほとんどが軽犯罪です。

(佐藤委員)

- ・令和12年度の目標が100件と、2割程度減少を目指していますが、対策はどのようにするのでしょうか。

(安藤課長)

- ・近隣自治体では国の物価高騰補助金を活用して、家庭用の防犯カメラの設置を進めています。本町でも同様の事業を検討しております。また、自転車の盗難については、駅の駐輪所で発生したりもしているため、駐在とも連携ができないか検討いたします。

(後藤委員)

- ・本日、Jアラートの訓練放送がありましたが、防災の放送システムは町のものでしょうか。それとも、国・県ですか。

(安藤課長)

- ・国から全額補助をもらい、全て町で整備をいたしました。令和4年で58か所に設置してあります。

(後藤委員)

- ・地域によって聞こえない場所がある。大蔵の会社の中に入ると、聞こえない。改善はされますか。

(安藤課長)

- ・防災無線は、基本、外で聞いていただくもの。町民の皆さんにも、外で聞いていただくものとお話している。あとは、個別受信機を社内に置いていただくと、中でも聞くことができます。あとは防災メールですとかで、情報を受け取っていただきたい。

(2) その他	■基本目標5 デジタルの力を活用したまちづくり ・事務局より、要点を抜粋して説明。また、基本目標5及び全体を通しての事前質問について、回答。 <質疑等なし> ■その他 ・事務局より、追加意見等は9月19日（金）までに、任意の様式で事務局まで提出していただくよう説明した。また、委員報酬等について説明した。
10 閉 会	高坂副会長
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和7年9月8日 署名委員 <u>船戸 美津子</u> 令和7年9月17日 署名委員 <u>杉田 哲</u>	